

[消化器内科]

[研修の目的]

内科一般臨床医として、消化器疾患の病態を的確に把握し、適切な診断・治療を行うことができるようにする。救急外来で消化器疾患患者が来院してもスムーズな対応のできる臨床医を育成する。当院は、日本内科学会、日本消化器病学会、日本肝臓学会、日本消化器内視鏡学会、日本消化器がん検診学会、日本超音波医学会、日本消化管学会の学会施設認定となっているため、当科での研修はこれらの認定医、専門医取得の際の研修歴とすることができる。

[研修指導者]

★ 金岡 繁(副院長・消化器センター長・ゲノム診療センター長・消化器内科部長)

日本内科学会指導医・認定医、日本消化器病学会指導医・専門医、日本消化器内視鏡学会指導医・専門医、日本消化管学会指導医・専門医、日本消化器がん検診学会指導医・総合認定医、浜松医科大学臨床教授

★ 影山富士人(肝臓内科部長)

日本内科学会指導医・認定医、日本消化器病学会指導医・専門医、日本肝臓学会指導医・専門医、日本消化器内視鏡学会指導医・専門医、日本がん治療認定医機構暫定教育医、浜松医科大学臨床准教授

★ 栗山 茂(内視鏡科部長)

日本内科学会指導医・専門医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本がん治療認定医機構認定医

★ 鈴木 安曇(消化器内科医長)

日本内科学会認定医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会指導医・専門医

★ 大庭 行正(肝臓内科副医長)

日本内科学会認定医、日本肝臓学会専門医

[研修コース]

当院内科ローテーションの一環として行う。

[研修指導体制]

患者受持医として担当患者の診療を各指導医のもと行う。定期的に、カンファランスを行い、臨床的判断と診療に関する検討をし、各々の臨床的思考を磨き、抄読会にて新しい知識の習得を目指す。症例検討は外科や病理科の医師をまじえ、各種画像を含めた総合的診断能力を高めることができる。

[研修内容および到達目標]

消化管、肝胆膵疾患の診断、治療に関する幅広い知識。患者さんに対する思いやりのある医療の習得。腹部 CT・MRI、血管造影の読影及びエコー検査の実施。上部及び下部消化管造影検査の実施と読影。上部消化管内視鏡検査の観察と実施。内視鏡的治療の観察と介助。エコーを用いた診断・治療手技の観察と介助。